

【収蔵品紹介】
石台2種 ① 瑠璃釉染付柘榴文石台 ② 瑠璃釉唐獅子牡丹文石台

大宮盆栽美術館は、歴史的に貴重な盆器(植木鉢)約350点を所蔵しています。今回は、珍しい「石台」と呼ばれる2鉢をご紹介します。

本作は、尾張の瀬戸(愛知県瀬戸市)で生産された磁器製で、透明釉の施された真っ白な胎土と、瑠璃釉の深い藍色のコントラストが鮮烈な印象です。①の鉢の側面には、4面それぞれに窓が切られ、柘榴と花に蝶が飛び交う図が描かれています。また、②の鉢は、粘土を貼り付ける「貼付」の技法を用いて、立体的に唐獅子と牡丹が表されています。双方とも胎土が厚く実用品としての堅牢さも兼ね備え、底には中央一ヶ所に水抜き穴が開けられています。

瀬戸では19世紀以降、それまでの陶器に加え、磁器製の植木鉢が盛んに生産されるようになりました。菊、朝顔、福寿草、桜草など、江戸で爆発的に流

行した園芸植物を彩る鉢としてデザイン性の高い磁器の鉢は人気があり、なかでも青紺のコバルト顔料を用いた爽やかな配色の染付鉢が好まれたようです。①②もそのような品ですが、何と云っても、独特のフォルムが特徴的です。方形の鉢の四方に取っ手のような張り出しが付いた形は、「石台」「石台型」と呼ばれているものです。これは「石台」という器材に由来する名前なのですが、もともとの石台とはどのようなものであったのでしょうか。

石台の歴史は古く、鎌倉時代以降に成立した絵巻物「春日権現験記」や「慕婦絵詞」にも登場します。絵巻に描かれた貴族の邸宅の庭先には、植物を石に植え付けた「盆山」が、腰高の棚の上に飾られている様子を確認できます。盆山が据えられている浅い長方形の木製容器が「石台」です。側面の平行する2辺の板材が張り出し、運搬

のための持ち手の役割を果たしたようです。

現在の石付き盆栽はあくまで盆栽が主役ですが、「盆山」は岩山の姿を連想させる石が重要な要素であり、「石台」の呼称もそこから来ていると考えられています。また、盆山の容器は「花台」や「船」※1とも呼ばれたようです。船は「槽(かね)」と同義の語で、浴槽、酒槽の語があるように液体を満たすことができる大型の容器を示します。描かれた石台にも砂や水が張られている様子が確認でき、柄付きの水盤に当たる器材であったことがわかります。

本来、水を張る石台の底に穴は無かったと考えられますが、やがて、水抜き穴を開けた植木鉢としても用いられるようになりました。享保18年(1733)に刊行された、躰躑と皐月の園芸書『長生花林抄』



②瑠璃釉唐獅子牡丹文石台 (B-166)
明治時代
幅31.9cm x 奥行16.4cm x 高17cm 厚み1.4cm



①瑠璃釉染付柘榴文石台 (B-165)
江戸時代後期～明治時代
幅30.8cm x 奥行16.5cm x 高14.8cm 厚み1.8cm

巻りに、石台を用いた「挿し木」の方法が解説されています。長三尺(約91cm)、横二尺(約61cm)、高三寸(約10cm)の木製と思しき石台が図示され、「せきだいのそこに水ぬきの穴を所々にあけ、穴の上に蛤貝をかふせ、さて右の黒土砂赤土苔をしき」とあり、浅い石台の底に穴を開け、挿し木のプランターに転用されたことがわかります。もともと、商品植木鉢が流通する以前は、様々な生活容器の底に穴を穿ち、転用植木鉢としていたことが知られており、用途の近しい石台もしばしば転用されたのではないのでしょうか。

また、磁器生産において古い歴史を持つ肥前有田の酒井田柿右衛門家文書のなかに六代将軍徳川家宣による植木鉢の注文記録が残されており、正徳2年(1712)の発注品のなかに大型の「御用石台鉢」が上げられています※2。「鉢」と明記されているため、水盤や盆より深さのある植木鉢で、焼成前に水抜き穴が開けられた完成品が納められたとみられます。

そして、19世紀以降に肥前や瀬戸な

どで製造された商品植木鉢が普及すると、その形はデザインとして受け継がれ、植木鉢であっても「石台」と呼ばれるようになりました。なお、浮世絵版画などを見ると、木製の石台(植木鉢)も江戸時代を通じて使われていたようです。描かれた木製の石台の大半は黒っぽく塗られ、渋墨によって防水と腐食止めがなされたとみられます。

このような歴史を踏まえ、改めて2鉢を眺めてみましょう。もともと持ち手であった張り出し部分には、銀杏型の優美な意匠が施され、洒落た雰囲気漂います。①の柘榴文石台には、木製の石台から着想を得たとみられる「鉢」らしき表現もみえ、本来は実用品としての機能性に関わっていた部分が意匠化されて継承されていることがわかります。現在の盆栽のルーツである「盆山」の歴史が投影された、貴重な2鉢といえるでしょう。

(当館主査 菅原千華)

※1・2 依田徹『盆栽の誕生 2014年(大修館書店)』による